

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	17H06109	研究期間	平成29(2017)年度 ～令和3(2021)年度
研究課題名	血液脳関門通過性ヘテロ核酸の開発	研究代表者 (所属・職) (令和2年3月現在)	横田 隆徳 (東京医科歯科大学・大学院医歯 学総合研究科・教授)

【令和2(2020)年度 研究進捗評価結果】

評価		評価基準
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
○	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>本研究は、Glucose transporter (Glut) 1 結合抗体を用いて、ヘテロ核酸の血液脳関門透過性を実現し、核酸薬剤を脳へデリバリーすることで神経疾患の治療法を開発するものである。</p> <p>このために必要な Glut1 結合抗体はいくつか得られているものの、脳内移行性を実現する抗体は、いまだ得られていない。また、代替候補の Glut4 結合抗体についても同様の状況であり、今後の研究の進展が懸念される状況である。今後は、脳内移行性を実現する抗体の取得に集中した研究を展開するとともに、脳内移行性を実現する抗体取得が困難であった場合の対策などについても検討することを望む。</p>		